

札幌トレセン大会報告書

2018. 3. 7

札幌4種技術委員会（川内 悠平）

<p>1、大会名・日程 トレセン交流大会U11 2018年2月3・4日 三笠ドーム・北村土里夢</p>
<p>2、参加選手（ ）内は所属チーム 阿部 翔成・鷹島 凌（クラブフィールズ）藤木 良馬・高瀬 快周（LIV）中西 莉久（サッポロボーイズ） 清水 彪雅（大谷地）今野 眞翔・佐野 元紀（SSS）米田 来禅（元町FC）中村 友哉（スポルティング） 村田 龍之介・森 詩音・千田 悠翔・川崎 幹大・幡鎌 駿・山根 且稔（北海道コンサドーレ札幌） 計16名</p>
<p>3、引率者名 川内 悠平（サッポロボーイズ）、中村 雅俊（スポルティング）</p>
<p>4、大会結果 2月3日（土）【予選リーグ】 旭川3-2、小樽10-1、とかち2-0、北海道女子1-1 ※5チーム中1位 2月4日（日）【1位リーグ】 札幌ホワイト1-2、根室1-3、北北海道0-2、南北海道0-2 ※5チーム中5位</p>
<p>5、成果と課題</p> <p>成果</p> <ul style="list-style-type: none">・トレセン活動の中で取り組んできた、観て、判断しながらプレーすることを発揮することができた。チームとしてのバランスを保ちながら、攻撃ではタイミングよくボールを受けること、難しければサイドを変えながら、ボールを失わないようにして前進すること。守備ではチーム全体で追い込んで守備することを意識することができた。・二日間を通し、チャレンジするもののうまくいかない試合・内容が続いたなかで、選手たちが少しずつ殻を破り、自分から積極的にプレーすることで、攻撃ではボールを受ける動きが増え、守備ではボール際の強度が上がり、攻守の切り替えも速くなり、良い形がたくさんでるようになった。 <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none">・攻守ともに、ボールを持っていない時の準備が不足しているため、オン・オフともに選択肢が少ない。ボールを持ったときに慌ててしまい、状況に合わないプレーでボールを失う場面が多く、失点に直結する場面もあった。厳しいプレッシャーのなかで的確に判断する経験値の不足を感じた。しっかりと判断基準のなかでプレーする機会、日常を何度も繰り返す必要がある。 <p>今回の大会参加にあたり、ご協力いただいた関係者の皆様、ありがとうございました。</p>